

 NPO 高知 県 日中友好新聞	2018年7月 1日 NO51号	NPO 法人高知県日中友好協会 発行責任者 浜田嘉彦
		TEL: 088-825-0011 FAX: 088-825-0513 Email:nichu-Kochi@movie.ocn.ne.jp

日中こども将棋交流を今回は上海で開催 (3/31)
全国から30名、高知から二組の親子6名が参加

2018年3月31日、上海市の婁山関中学校で日中平和友好条約締結40周年を記念して「日中こども将棋交流「所司和晴杯」」が開催され、日中のこども達約300人が“日本将棋”を通じて友好を深めました。この交流会は日本将棋連盟上海支部の許建東支部長（上海許建東将棋倶楽部代表）が主催し日本将棋連盟の所司和晴7段の「所司和晴杯」として毎年開かれています。今回は昨年の日中国交正常化45周年、今年の日中平和友好条約締結40周年を記念して日本の小中学生が招待されて開催されたもの。各地から3月30日～4月2日までの日程で高知の親子二組6名、香川一組2名、京都の親子五組10名と各県の将棋連盟役員など約30名が参加しました。当協会からは岡林会長、植野副会長、竹内事務局次長（高知県将棋連盟香美支部長）が参加しました。

上海市では上海市文化体育局所管の許建東将棋倶楽部が市内40校の小中学生1万人に課外授業として日本の文化として「将棋」の授業を行っています。また許建東将棋倶楽部は6～7年前から日本の各県に“こども将棋使節団”として親子30人程を訪問させています。高知にも2016年・2017年に訪れ高知のこども達と対局し交流を深めました。



31日9時からの交流会では婁山関中学校の校長先生と許建東将棋倶楽部代表の挨拶のあと、小中学生が各学年ごとの9グループに分かれて対局し一位・二位・三位を表彰しました。ちなみに上海のこども達は約3000人が予選を行って今回出場したとのこと。また、昼食は中学校の給食を皆で食べました。

交歓会の後、上海から50キロほどの揚子江の中にある崇明島（淡路島と同等の大きさ）を訪れ、翌1日はラムサール条約で保護されている渡り鳥生息地である自然公園（西沙国家湿地公园）を散策するとともにそ

こから眺める揚子江の大きさに子供たちは感嘆していました。その後上海市内に戻り外灘、南京路、豫園などを観光し、親子ともども中国の旅を満喫したとの感想が寄せられました。なお、岡林会長と竹内事務局次長は許建東将棋倶楽部の事務局長で日本将棋連盟上海支部幹事長の恵下雄二さん（山口県出身）の好意により5日まで上海に滞在し、上海下町の散策、上海から車で2時間の周荘（ベネチアに似た水郷）の観光、そしてお隣の杭州を巡りました。とくに杭州に行ったきっかけは高知工科大学で8年間、研究員・教鞭をとられた刘涛先生が浙江大学（創立120年の名門大学）の教授になられており、旧知の武内事務局次長の誘いでわざわざ上海に来られ、先生の車で杭州の山麓にあるお茶の産地の龍井村を恵下夫妻ともども見学しました。龍井村は中国の皇帝に献上した有名な茶所で、茶農家の庭先でおいしいお茶をご馳走になりました。また、この場には工科大に留学していた李宋綱さん（ハルピン大学教官）もお子さん連れで来られており竹内次長の工科大学留学生との交流の深さに敬服した次第です。最後に竹内事務局次長ですが、実は3月30日の歓迎会の席で慣れないお酒の飲みすぎと狭い

部屋での酸素不足？から宴終了後に倒れ救急車で病院に運ばれました。運ばれたのは軍人優先の病院で、綿密に心臓・脳検査などを行い、結果異常がなくて午前2時半ごろ無事にホテルに帰ってきました。この間竹内さんのご家族との深夜のやり取り（電話）で大変なご心配をお掛けしたことをお詫びするとともに、許建東代表、恵下夫妻、関係者の皆様のご親切な対応に心からお礼を申し上げます。竹内さんは翌日から植野副会長と予定の行動をとられ、5日までの日程を無事に終えることが出来ました。（余談になりますが、竹内さんが救急車で運ばれたとき私は“今回の旅は終わった”と思いました。結果的に無事で良かったですが、皆さん、睡眠不足とお酒の飲みすぎは厳禁ですよ！（岡林記）

追伸 許建東将棋倶楽部は来年7月に広島・高知を訪問する計画があるとのこと

日中子供将棋交流大会に参加して

高知市立義務教育学校 土佐山学舎
6年生（現在は7年生） 小松 孝男

私は、3月30日から4月2日まで、日中子ども将棋交流大会に参加し、初めて上海に行ってきました。

上海に行ってみると、中国はとても大きな国だと感じました。特に、2日目に行った崇明島は、とても広く、長江の大きさを実感することが出来ました。崇明島では、とても広い公園にも行きました。公園を一周するのに、かなりの時間がかかり驚きました。

上海の中学校で行われた将棋大会では、中国の人と将棋を通じて、交流をすることが出来、とても楽しかったです。大会では優勝することができました。賞品として将棋盤や所司先生の本、色紙、楯など沢山頂きました。中でも将棋盤は上海の思い出として、大切に使いたいと思っています。

上海では、バスや地下鉄にも乗り豫国にも連れて行ってもらいました。中国でのお金の単位が元ということを知りました。

今回、いろいろな場所に行ったり話を聞いた中で、日本と中国の文化の違いを数多く目にしてきました。

4日間に行った所は、すべてがとても大きくて、おもしろかったです。今回、いろいろな中国の人達と交流ができ、とても貴重な経験をすることができました。また、機会があれば行ってみたいです。ありがとうございました。



日中子供将棋交流大会感想文

香南市立野市小学校
5年生（現在は6年生） 岩崎凜太郎

中国へ行ったとき、車がたくさんはしっていたのでびっくりしました。食事は、ほとんどの料理があまくておいしかったです。とくに、「豚の角煮」が、やわ

らかくて、おいしかったです。

中国人の子どもと、将棋をさしたときは、みんなていねいにさしていたので、将棋ということがよく分かっていることがわかりました。

「長江」をみた時は、海と思うくらい広がったです。

中国は、とても物価が安いので住みやすいと思いました。

また、中国へいきたいです。

日中子供将棋交流大会感想文

香南市立野市小学校

2年生（現在は3年生） 岩崎十二朗

中国は、車の車線がいっぱいあってびっくりしました。

中国の人と将棋をして楽しかったです。中国の人と、もうちょっとさしたかったです。

食事もおいしかったです。特に貝がおいしかったです。

また行きたいです。

日中平和友好条約締結 40 周年・

愛媛県華僑華人連合会設立 10 周年記念行事の開催

日中平和友好条約締結 40 周年・愛媛県華僑華人連合会（林全南会長）設立 10 周年記念行事が 5 月 12 日（土）午後 2 時より、道後温泉にほど近い愛媛県民文化会館で愛媛県華僑華人連合会主催のもと、500 名近くの参加者で盛大に開催されました。



2 時より約 1 時間にわたり、駐大阪総領事館「李天然」総領事の記念講演があり、その後主催者及び来賓挨拶に続き、中国大使館「程永華」大使、続いて（公社）日本中国友好協会「丹羽宇一郎」会長の祝電が披露されました。主催者及び来賓挨拶は別紙に掲載しております。

その後、4 時より約 1 時間にわたり、中国と日本の伝統楽器である中国琵琶・二胡・揚琴・古箏（琴）・尺八の合奏や独奏のコンサートが行われました。また、中国四川省に伝わる川劇の変面も演じられました。

中国、当代一流の芸術家の卓越した演奏や劇に参加者一同、大感激で惜しみない拍手が寄せられました。

コンサート終了後、「李天然」総領事・「中村時広」愛媛県知事・「野志克仁」松山市長を囲んでの懇親会が盛大にかつ和やかにとりおこなわれました。四国四県の華僑華人連合、日中友好協会の皆さんも多数出席されておりました。

NPO 高知県日中友好協会もこの記念行事の協賛団体として、岡林俊司会長、植野克彦副会長、中谷俊副会長、竹内・田村両事務局次長、伴武澄氏の 6 名が出席しました。



伴武澄氏は元・共同通信社記者で、日中平和友好条約締結当時の駐北京日本大使館公使（故）伴正一氏（高知市出身）の御長男です。日中平和友好条約を締結へ導びかれた功労者・伴正一氏の御長男武澄氏が40周年記念行事に御参加いただいたことは、大変意義深いものとなりました。

平和共存、平等互惠の日中平和友好条約の精神を再度日中両国民が確認し発展させてゆこうではありませんか。

高知県国際交流員の来訪

高知県文化生活スポーツ部国際交流員の“張慧杰”（チョウ・ケイケツ）さんが本年3月をもって離任され、後任の安徽省出身“郭佳慧”（カク・カケイ）さんにバトンタッチされ、お二人が事務所にさる4月23日に御挨拶に来られました。張さんは通訳などで私達協会も大変お世話になり、また国際交流員として高知県の国際交流に多大な貢献をされました。岡林会長以下役員一同、その労をねぎらい、「よさこい」のDVDと掛花入を贈呈しました。

張さんは今後日本で勉学の道に進まれるとの事で、高知県を第二の故里と思い、高知県の振興の為に努力をしたいとの決意も述べられました。

事務所の留守電の音声を張さんをお願いし録音されておりますので、張さんのお声を聞きたい方は当番時間外に事務所へ電話してみてください。

新任の郭佳慧さんには今後ともよろしくご協力お願いいたします。



（写真：中央左女性が張さん・右が郭さん）

“四国四県第八回中国留学生大運動会の開催地変更について”

2017年12月13日付発行 - NP0 高知県日中友好新聞No.48号でお知らせしました、第八回中国留学生大運動会の開催地高知県は、その後香川県に変更となりましたので、お知らせします。

本年は、日中平和友好条約締結40周年の記念すべき年でありますので、主催団体の四国華僑華人連合会の本拠地である香川県において、例年よりも規模を拡大して開催したいとの希望によるものです。

今後日程等が決まりましたら県内の留学生の皆様にも改めてニュースでお知らせしますので多数の参加をお待ちしております。

